

患者さまの権利

患者さまは、

- 何時いかなるときも尊厳とプライバシーが守られる権利があります。
- 常に、適切にして最善な医療を受ける権利があります。
- 病態・治療について必要十分な情報を得る権利があります。
- いかなる治療段階においても、本人の選択に基づく医療を受ける権利があります。
- 自己決定できない場合、指定した代理人を通して、治療に関する同意あるいは拒否を行う権利があります。
- 主治医以外の医師(他の医療機関を含む)にセカンドオピニオンとして病態や治療に関する意見を求める権利があります。
- 個人情報保護法に基づき、個人情報は適切に取り扱われ、保護される権利があります。
- 診療記録の開示を求めることができ、必要があれば代理人を立て請求する権利があります。
- 終末期意見指示書を提示すれば、厚労省・終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン、日本医師会・終末期医療に関するガイドライン等に準拠し、最大限に尊重される権利があります。
- 医師の判断に係わらず、退院する権利があります。但し、許可なく退院した場合、事後の事態について責任は負いかねます。

部署紹介

薬剤科

薬剤科は「薬あるところに薬剤師あり」を目指し、薬と名の付くもの全てに薬剤師が係る事を目標としています。調剤や薬剤管理指導だけでなく、薬の濃度から患者さまそれぞれに適切な薬の量を提案するなど、患者さまが薬を安心してお飲みいただけるよう日々取り組んでいます。お薬のことでわからないことがございましたら、お気軽にお声かけ下さい。



● 病院概要 ●

医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院
〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北1-16-1
TEL 0463(78)1311 FAX 0463(78)5955

診療科：内科、神経内科、
リハビリテーション科、歯科

病床数：591床



● 湘南リハビリテーションセンター

回復期リハビリテーション病棟入院料 1
及び重症患者回復病棟加算 206床

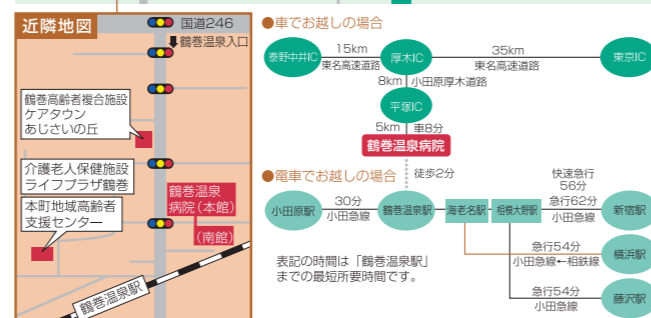
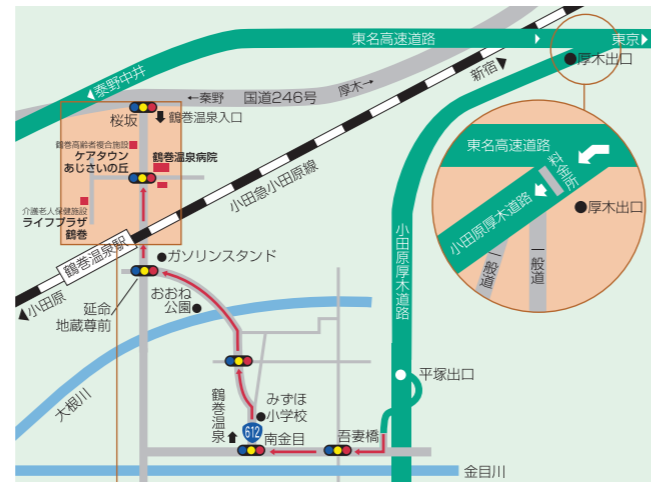
● 湘南メディカルセンター

障害者施設等入院基本料 60床
(神経難病リハビリセンター)
療養病棟入院基本料 1 60床
(医療保険適用療養病棟)
療養病棟入院基本料 2 25床
(緩和リハビリ療養病棟)
特殊疾患病棟入院料 1 60床
(特殊疾患病棟)
療養型介護療養施設サービス費 (I) 180床
(介護療養型医療施設)
病院療養病床短期入所療養介護費 (I)

● 外来診療時間

【月～金】 14:00～16:30
【土】 9:30～13:00 (日曜日・祝日は休診)

● 交通案内



医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院
湘南メディカルセンター
湘南リハビリテーションセンター
news@sankikai.or.jp

地域連携サービス室
☎ 0463-78-1319
入院相談専用ダイヤル
☎ 0120-131146
ペイシェント・ベル
☎ 0120-250646



発行 地域連携サービス室



画 関口 茂様 (2階東病棟ご入院中)
「田舎の冬」
色鉛筆で描くのは難しい。
特に空が難しかった。

“時代が変わる→社会が変わる→医療が変わる→病院が変わる→病院を変える”



副院長兼事務長
小副川 英男

①2,944万人…23.1% ②44,449名 これは総務省発表の①高齢者(65歳以上)人口及び総人口に占める割合 ②百歳以上の高齢者数推計値です。日本に於いてはほぼ4人に1人が高齢者で、百歳以上の方が毎年4千名以上誕生するという時代が到来しました。寿命が延びる事自体は悪い事ではありません。問題は同時に起こっている“少子化”です。戦後出生率4.32→現在1.25～1.32と極端に減少しています。例えて言えばみこしに乗る人が増え、担ぐ人が極端に減っていく構図です。こうした“人口構成”の変化(少子高齢化)が医療界・病院界に多大な影響を与え、変更を余儀なくさせます。同様の影響を与えるもう一つの要因が“疾病構造”の変化です。戦後昭和20年代は結核や肺炎が死因の上位を占め、昭和50年代は1位 脳血管疾患 2位 悪性新生物(ガン) 3位 心疾患となり、平成に入るや1位 悪性新生物(ガン) 2位 心疾患 3位 脳血管疾患となりました。このような状況下で、病院は超高齢社会や多様化する疾病に対応する事が責務となります。時代・社会の変化に呼応し、当院は高齢者の方々を中心とし、疾病や障害をもたれた皆様のニーズに応えるべく、今迄以上の標準化・組織化・専門化を目指し、一層の患者サービス向上に取り組んでまいります。

contents

院長室より	2
患者さまの声	2
最新ニュース	3
診療部インフォメーション	3
部署紹介	4



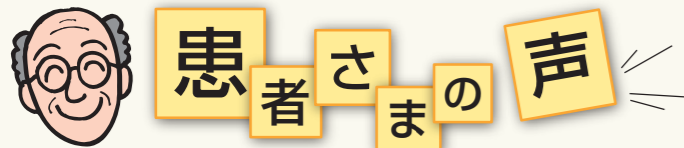
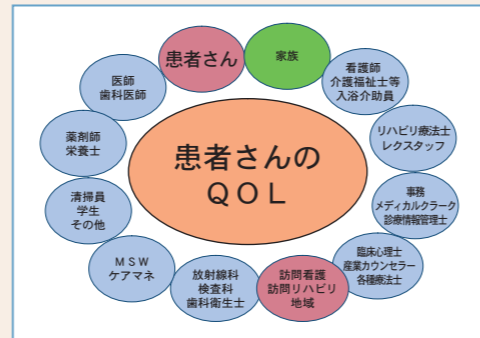
院長室より 鶴巻温泉病院のチーム医療



鶴巻温泉病院 院長
鈴木 龍太

最近チーム医療という言葉をよく聞きます。以前は医師が中心となって診断・治療・退院を決めていました。カルテも医師と看護師が別々に記録していました。チーム医療は多くの医療職が互い対等に連携することで患者さん中心の医療を実現しようと言うものです。担当医だけでなく、栄養士、リハビリ・言語聴覚士(ST)、歯科衛生士等が皆でカンファレンスをして患者さんの病状や飲み込み(嚥下)の機能を判定し、それに合わせて食事内容や食事形態を考えたりします。ほかにリハビリ、退院前など多くのカンファレンスで、多職種が話し合って患者さんに最良の医療を提供できるように

します。当院のカルテはチーム記録と言って多くの職種が同じ用紙に記録しています。下の図は私が抱えているチーム医療です。「患者さん」が中心ではなく「患者さんのQOL」が中心です。QOLとは生活の質(生活の満足度)です。患者さん・家族も一緒に参加して、多くの医療者、地域で患者さんのQOL向上を目指します。それぞれの医療者はプロとしての本領を發揮してチームを支えます。急性期病院では「患者さんの病氣」を中心にすれば分かり易いと思います。こんなチーム医療の実現に是非協力してください。



患者さまからのご意見・評価などを紹介します。

「ありがとうございました」… 退院患者さまアンケートのご意見より

入院中は職員の皆様によくしていただきました。本人は安心してお任せしていたようです。今も家族指導の注意点を思い出しながら介護にあたる日々です。本当に有難うございました。

「和室にお茶の用意を」… 退院患者さまアンケートのご意見より

ご意見 お見舞いの方が続く時等宿泊させていただき、本当に助かりました。食事は如何様にもなりますが、温かいお茶のセットを用意していただけたらと思いました。

回答 ご意見をいただきましてありがとうございました。和室は火気厳禁とさせていただきます。電気ポット等のご使用方法により発火の危険性もありますので、設置致しておりません。尚、南館6階パントリー受付前に給茶器とコップを設置してございます。24時間ご使用いただけますので、どうぞご自由にご利用下さい。ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。



お客様に選ばれる病院づくりを目指して、退院された患者さま・ご家族から頂いたご意見やご要望について、ホームページ及び院内掲示にてご紹介しております。

最新ニュース

【日曜リハビリ稼働】

平成22年9月より回復期病棟において、365日リハビリを提供できる体制となりました。回復期病棟は、リハビリテーションを提供できる日数が、決まっております。その中で生活を主体と考えたリハビリテーションを毎日途切れなく行い、1日も早い回復を患者さま・ご家族と一緒に目指してまいります。

ベッドサイド訓練予定表



第4回セミナーの様子

【地域連携公開セミナーのご案内】

10月14日の第4回セミナーでは、秦野市議会議員のあそ佳一先生にお話しいただきました。薬物の恐ろしさから、地域活動の重要性まで理解を深める機会となりました。第5回は12月9日、第6回は2月を予定しております。どなたでも参加可能ですので、参加をご希望の方は地域連携サービス室までご連絡ください。

【介護衣：鶴巻着楽(つるまききらく)のご紹介】 (安全管理対策室より)

脳卒中などの後遺症として、“関節拘縮”があります。“関節拘縮”は無理に動かすと、骨折や皮膚の欠損などを起こし非常に危険なため、看護・介護現場においては難しい課題の一つです。そこで当院は“関節拘縮”を呈されている患者さまが安全・安楽に着替えられる衣類を考案しました。点滴やチューブ管理も可能です。是非お試し下さい。



診療部人ツフオナーション

《介護保険療養病棟》



第3診療部長
関口 繁男

当院の介護保険療養病棟は主に要介護度4~5の患者さまを対象としています。療養生活が主体の病棟ですが、脳血管障害の方が多く、失語症や意識障害の合併症を伴い、寝たきり状態の重症患者も多く、約8割を占めています。また、肺炎や胆道感染症、尿路感染症などの合併症

の発生の頻度も高く、医師5人で対応しています。職員は医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、介護支援専門員などが協力して、チーム医療で患者さまのQOLの改善を目指しています。

私の若い頃、指導医に「患者さんを身内と思って診なさい」と教えて頂きましたが、当病棟のスタッフはそのような思いで一生懸命頑張っており、自分の身内も安心して入院させることができると思っております。今後もそうあり続けたいと願っています。